



樹里安だより

ジュリアン

2001年 3月
Vol. 9



..... 安行八景 (その四)

持宝院 《川口市大字安行805》

真言宗智山派の持宝院は、天正元年(1573)に創立された、こぢんまりとして落ち着いた感じの瀟洒な寺である。
本尊として不動明王まつが祀られている。

金剛寺の キャラボク

金剛寺は、今から約500年前の明応5年(1496)に当地を支配していた「中田安斉入道安行」が先祖菩提供養のために開創した古刹である。

春の柔らかな日差しを浴び、小砂利の心地よい音を聞きながら、参道をゆっくり歩く。

茅葺きの山門の前に立つ。山門は江戸時代初期の構築で、川口市内でも最古の部類に属しすっきりした構えが印象的である。左側に目を移すと四つ目垣の向こうに、やや高植えで、いかにも大舞台で見栄を切って存在感を主張してるがごとき、お目当てのキャラボクに会える。案内看板には、指定15号、キャラボク(イチイ科)、指定昭和51年2月20日と明記してある。

ご住職のお話によると、元は本堂の脇に有ったとのこと。昭和30年、本堂改修の時に現在の場所に植え替えられたとのこと。お寺の

歴史と共に歩んできたであろうこのキャラボクは、樹齢400~500年と言い伝えられる。ご住職の幼い頃から、大きさは変わっていない。老木である。お許しを得て、キャラボクの懐に入ってみる。春のキラキラ輝く外気からは想像だにもし得なかったほどに内部は、薄暗く深閑としていた。下枝は地を這わんばかりにゆったりとしている。地際の幹の太さは約1.6m、目通り約80cm、高さ約3.5m、枝巾約7m。太い枝が何本も天に向かって、その先は丹精に手入れされた大作りの椀状の流し枝。葉が美しい。新緑の頃は、華やかさがひときは増すであろう。これほど大きなキャラボクであっては、移植もさぞや難儀ではなかったか。山門をくぐり抜けることは出来ず、その脇を壊して移動したとのこと。古木であればなおのこと移植は難しい。安行の技術の高さを見るおもいである。

金剛寺は、安行の植木の開祖と云われる吉田権之丞のお墓が安置されていることでも知られている。墓地の中ほどに一对のこぢんまりとした舟形のお墓がある。左が権之丞、右が奥さん。「元禄十六」の文字が年代をうつすが如く苔むしていた。



〔性質〕 おおむね強健であるが、生長は極めて緩やかである。陰樹であるが、日当たりよい場所でも生育は悪くない。

肥沃な壤土を好むが、比較的土壌に対する適応性はある。

萌芽力強く、刈り込みにもよく耐える。5月の新緑は非常に美しい。

〔用途〕 自然樹形（通常は、直立せずに斜上することが多い。）としてよりも、刈り込みを行い、玉物、流枝物など、いろいろ

な形に仕立てられて広く使われている。

庭園用として使われることが多く、大物は真木（庭の中心木）に、株物は根締め物や石付きなどとして使われる。

公園樹としても、株物を芝生、水辺、路傍などに用いるのにもよいものである。生育が遅いが、萌芽力があり、特に葉が密生するので、刈り込んで好みの形を作ることが容易である。トピアリーとして好ましい材料である。

歴史を刻んだ
キャラボクの幹



吉田権之丞の墓



金剛寺の参道と山門



春の息吹の中、園芸好きの人たちは、手をこまねいていた冬の時代を綺麗サッパリ飛び出して、身を委ねる。

「さあー！」と、思わず知らず誰れ彼かまわず大きな声を出して、己の歓喜を体一杯で表現してしまう。

ディアスキア

- ★ゴマノハグサ科
ディアスキア属
- ★耐寒性常緑多年草（-8℃位）
- ★原産地：南アフリカ山岳地帯
- ★開花期：5～10月
- ★草丈：20～40cm
- ★日本には最近導入され、4月初めに7種類が出回る。
早春から初冬まで開花。花着きよく、耐陰性がある。
排水よくやゝ湿り気ある土壌を好む。



フレンチラベンダー ストエカス

- ★シソ科 ラベンダー属
- ★多年草
- ★開花期：6～8月
- ★草丈：50～80cm
- ★花の上部に花びらのような苞葉を持つ可愛らしいタイプ。
カナリア諸島、アフリカ北部、スペイン～中東地域に分布。
- ★管理：耐暑性は高いが寒さにやゝ弱く（半耐寒性）冷涼地は防寒対策が必要です。
日当たりよく、水はけのよい肥えた土を好む。夏期は半日陰で風通しのよいところに置く。肥料は春秋の2回施す。



自分の行き付けの園芸売店を皮切りに、何軒もはしごして、新しい植物を探したり、値段を比べたり、楽しさを満喫！園芸冥利に浸るのもこんな時です。

大袈裟に21世紀の園芸三昧がスタートだぞと、一人悦に入って納得している姿は、はたから見るとほほえましい光景である。

ベアグラス

- ★カヤツリグサ科 スゲ属
- ★草丈：15～30cm
- ★伊豆七島原産のオオシマカンスゲまたはハチジョウカンスゲの斑入り品種と言われる。
- ★明るい林床に自生し、半日陰から日当たりで育つ。かなりの乾燥に耐え、逆に過湿は嫌う。寒さには強く、 -10°C 位まで耐える。



エリカ・バターソニア

- ★ツツジ科 エリカ属
- ★南アフリカはケープ南部の海岸に近い湿地帯に自生する低木。
- ★開花：春
- ★花色はロー質で濃黄色。
- ★管理：高温多湿の夏越しが最大のポイント。過湿にならないよう、梅雨期は軒下などに置いて雨を避ける。
根は細く、根詰まりしやすいので、花後の春に根を整理して植え替える。





みんなで作った ミニ庭園

川口市では「緑のまちづくり市民運動」を展開しています。安行地域には、まだ沢山の緑がありますが、市街地部は緑の減少が進み「緑のまちづくり」が急務となっています。

「緑とうるおいのある新産業都市 川口」を将来の都市像とし、市をあげて残された貴重な緑を守り育てると共に、街に緑をふやしていこうとしています。

平成12年9月30日と10月1日の2日間にわたって市民の方々に参加していただき、ベランダや玄関周りなど身近なところの緑化から実践してもらいたいと、ミニ庭園作製コンテストを開催しました。



川口市長賞



(財)川口緑化センター理事長賞



川口緑化産業団体連合会長賞



審査員特別賞



川口市長賞	内田 香さん (写真右から2番目・代理)
(財)川口緑化センター 理事長賞	杉崎 智子さん (写真1番右)
川口緑化産業団体 連合会長賞	鴫田 マリ子さん (写真左から2番目)
審査員特別賞	矢作 武昭さん (写真1番左)

平成13年は、人気のハンギングバスケット部門を新たに設け、ミニ庭園と併せて2部門を予定しています。

市民の皆様のご応募をお待ちしています。

詳細については、「広報 かわぐち」平成13年5月号に掲載予定です。



川口緑化センターの主なイベント（結果報告）



◆緑のまちづくり市民運動 ミニ庭園作製コンテスト

平成12年10月1日（日）～9日（月）

昨年に続き市民公募で2回目のコンテスト。17点を作製展示。参加者は楽しみながら又、大汗かいて格闘していました。約畳1枚分の面積ですが、工夫された17とおりのそれぞれの趣に、来場者は感心していました。（詳細は6頁）

◆秋期小品盆栽展

10月27日（金）～29日（日）

手の平に乗る程度の大きさですが、姿・形からにじみ出る風格は一級品。来場者は技術の高さに引き込まれるように見入っていました。



◆古典園芸おもと名作展

11月11日（土）～12日（日）

日本の古典園芸植物の一つ。200点を超す展示数。オモトの葉の変化性（葉の芸）には驚くばかり。来場者は名品揃いに堪能していました。

◆植木の剪定、刈り込み等 秋の園芸講習会

11月12日（日）

チャボヒバ、モッコク、ツバキ、ハナミズキ、キンメツゲ…等を利用して、体験実技講習会を開催。大変人気があり、熱心な質問やこわごわハサミを動かす人、なごやかな講習会でした。



◆水石、盆石と骨董市

11月17日（金）～19日（日）

植物と縁のある盆石、水石の展示と古民具・骨董などの販売を行いました。

◆接ぎ木技術講習会

平成13年2月15日（木）

サクラ、バラ、ライラック、ツバキを教材に接木繁殖の技術を継承するために、実習を交えた講習会を行いました。





植物・園芸用語解説 シリーズ9

- ◆ はなつ はながらつ **花摘み (花柄摘み)**・古くなった花を摘み取ること。
しぼんできた花は、見苦しくなり、観賞にも耐えられなくなって、そのままにしておくと、病気の原因にもなるので、摘み取った方がよい。
- ◆ か はと **枯れ葉取り**・枯れた葉を取ること。
枯れ込んできた葉や黄ばんできた葉をそのままにして置くと、見た目にも汚く、また、病気の原因・害虫の巣にもなる。季節はずれに枯れ込んできた場合は、何らかの要因による生育障害も考えられるので、よく観察すること。
- ◆ てきしん てきしん **摘心 (摘芯)**・伸びすぎた枝を切りつめ、側枝の発達を促すために新梢や枝の先端部分を摘んだり切りつめたりする方法。
代表的な例としてマツの緑摘みがあります。バラやカーネーションなどでは、摘芯によって開花期を調節することもあります。
- ◆ ゆういん **誘引**・植物の枝や蔓を支柱や柱にひもで結んで固定すること。
植物の姿を整えて丈夫な生育を促す。
- ◆ はちまわ **鉢回し**・鉢の向きを定期的に変えて、植物全体にまんべんなく陽を当て良好な生育を促す。
- ◆ ねづ **根詰まり**・同じ鉢で何年も栽培していると、生育がよければ、根もどんどん生長し鉢内に根が充満してきてやがては水や養分の吸収が悪くなること。その状態が続くと、次第に植物が弱ってきます。
- ◆ はちが **鉢替え**・鉢植えの植物を他の鉢に植え替えること。
- ◆ なふだ **名札 (ラベル)**・植物の名前を書いた札。
大切にしている植物の名前がわからなくなったときほど切ないことはない。名札を鉢内にしっかり挿したり、枝にくくり付けておきましょう。
- ◆ やくざいさんぶ のうやくさんぶ **薬剤散布 (農薬散布)**・病虫害防除のために、農薬を植物にかけること。曇天で風のない日を選んで行います。初めての人は、薬を購入するときに、よく教わって下さい。
- ◆ ついひ **追肥**・植物が生長しているときに与える肥料。
花木開花後や、芝生刈り込み後に与える肥料。また、元肥では足りなくなった養分を植物の生育に応じて補うために与える肥料。



ジュリアン
樹里安

川口緑化センター・道の駅「川口・あんぎょう」

発行日：平成13年3月1日
発行：財団法人 川口緑化センター
〒334-0058 川口市安行領家844-2
TEL.048-296-4021
ホームページ：<http://www.sainet.or.jp/~jurian/>